



コミュニティ しずおか

2020
7月
No.159



ゴスペルが自分を変える、まわりを変える

ブリリアント・スターズ静岡(掛川市)

▼掛川市宮脇地区を拠点に活動するブリリアント・スターズ静岡は、会員30人の子連れで楽しめる母親たちのゴスペルサークル。子連れで歌う姿は、自分を抑えがちな母親たちに勇気と刺激を与え、掛川市内はもちろん、近隣市町からも参加している。

▼歌うことが好きで子連れで楽しめる場所を探していた瀬川代表。無いなら作ってしまおうと講師を探し平成29年4月にまず体験会を開催。その時出会った7人で活動が始まった。練習では寝そべる赤ちゃんや子どもたちのにぎやかな声が公民館に響き、休憩時には子育ての悩みを語り合ったり、地域の文化祭やショッピングモールの舞台上で赤ちゃんを抱っこしながら歌ったりする姿もこの会ならではの。

▼「ゴスペルを始めて夫に優しくなった」「ママ友ではない『友だち』ができた」「子どもがいる事を遠慮しなくていい」「とにかく楽しい」とゴスペルは自分自身も周りの人々も幸せにする可能性にあふれている。夢中になりすぎて家庭に支障が出ないように出演の日程を調整する等気を付けている。

▼現在、集まる事が出来ない為、各自自主練に励んでいる。「集まって歌える事の貴重さを実感。歌を届ける場を継続していきたい」と代表は語った。

◇代表:瀬川明子さん(問合せ・090-6273-2783)

【情報提供・中村弘美】

Topics トピックス

クローズアップ…………… P02
ささえ、ささえ愛のまち 由比(静岡市清水区)

クローズアップ…………… P06
手ぶらでらくらくパーベキューを楽しもう(沼津市)



ツミク
のじぎき・りえ

創意工夫や新しい手法を活かしている団体を紹介します。

クローズアップ



人気No.1の草取り。暑い時期は熱中症対策のため、1人当たりの作業時間を1時間と決めている

ささえ、ささえ^{あい}愛のまち 由比

静岡市清水区

由比地区社会福祉協議会「ゆい結びあい」

清水区由比地区は、古くは東海道の宿場町、現在は桜工ピとシラスの漁業基地として全国的に名が知られている町です。高齢化率37.6%と市全体の30.2%と比べると高いことがわかります。由比地区社協は、ちょっとした困りごとを支えあう仕組み「ゆい結びあい」を発足。本日はコーディネーターの岩辺さん、地区社協会長古牧さん、NPO法人ふれあい由比の柚木さんにお話を伺いました。

住民の声を聞く

地域住民同士の支え合いのしくみを地区単位で構築することを目指している静岡市社協の呼び掛けで、平成30年

「地域づくり会議」が発足。まずは住民の声を聞く必要があると全戸に地域福祉に関する住民アンケートを実施。アンケートの回収率97%。この数字に住民の関心度と共に自治会長を中心とする自治会の皆さんの地域福祉活動に対する思いがうかがわれます。

内容は、身近に助けてくれる人はいるか、何に困っているか、支援を行う場合どのような仕組みが良いか等困りごとを聞くと同時に、無償サポーター参加の確認の項目も設け、住民のニーズに応えられるよう細かく配慮されたものでした。

アンケートの結果「困りごとがある」と答えた一割は身近に助けてくれる人がいない事が判明。「困りごと」の内

訳は、1位：物の移動2位：雑草取り
3位：通院となり、また、回答者の2割
ほどがサポーターに参加可能とうれし
い回答をいただきました。

サポートの仕組み

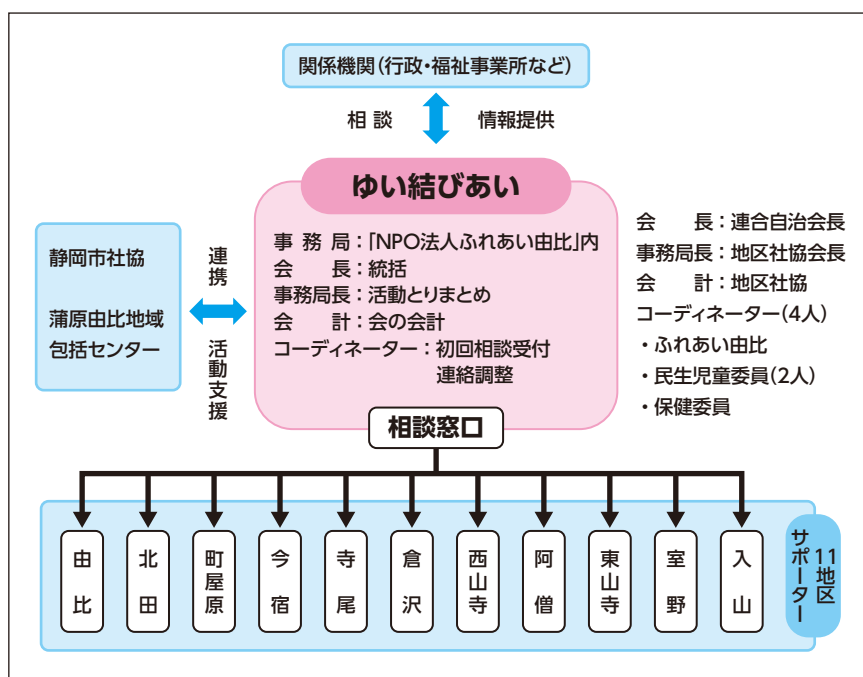
平成31年3月NPO法人ふれあい由比
の事務所の一角を借りスタート。資金
は、地区社協から毎月1万円と利用者の
登録料や利用料、そして一番大事なマン
パワーで運営。現在、サポーターは11地
区から52人が登録しています。「事務所
と専用電話があるおかげで活動しやす
い」と岩辺さん。

ゴミ出し、掃除、草取り、話し相手等
を100円～300円(チケット制)で高齢者や障害者世帯、
子育て世帯などのお手伝いをしています。この料金、無料
にすることも考えたそうですが、義理堅い由比の住民の特
徴から有料にした方が利用者の負担感が減ると判断し、
手ごろな金額を設定。現在利用者は37人で昨年度の利用
回数は73回。人気ナンバーワンは1時間300円の草取り、
続いて掃除、ゴミ出し。地域包括支援センターさんも関
わっているの、介護保険と組み合わせて利用されている
方もいるそうです。

「ありがたい言葉がうれしく、充実感を得られます」
とサポーターとしても活躍する柚木さん。当初、地区内住
民同士で支えあう仕組みが回ることを想定していたが、各
地区のサポーター登録数の差や要望が多い草取りに応じ
られるサポーターが限られているため、出勤する人の偏り
や地区をまたいでの活動になっているのが課題です。



お墓の掃除も依頼が多い



ゆい結びあいの組織図

生まれ育ったまちで安心して暮らす

『ゆい結びあい』は住民同士の支え合いで成り立ち、それは由比の人柄を表していました。義理人情ある由比の人の為の利用料制。依頼された方と会話しながら「ありがとう」の笑顔に支えられるサポーター。取材しながらお話しする皆さんの言葉一つ一つに、これから由比の町を支えて行く意気込みと由比を愛する思いが感じられました。

「この制度を広めたい」と地区社協会長の古牧さん。まだ活動が行き届いていないとご謙遜されましたが、由比地区が地域福祉活動のお手本になるその日まで皆さんの努力は止まらないと感じました。

◇代表：桑原信夫さん

(問合せ・054-375-6705(事務所))

【情報提供・柚木達雄】

レポート：市川頼子 編集委員



まちからむらから



下田市

歌って喋って人生はつらつ

柿崎たんぽぽの会



評判の高いハーモニー

▼柿崎たんぽぽの会は、健康づくりと地域の絆を深めることを目的に平成18年に発足。毎月1回「はつらつ健康教室」と題し、健康体操や脳トレ、文化祭へ出展する作品づくり、地区合唱祭に参加するための練習等を実施している。

▼会員は32人(スタッフ8人、利用者24人)。代表の土屋さん夫婦が中心となり運営。活動を始めるにあたりお茶菓子は外せない!と地域を歩き声を掛け、お菓子を作るスタッフを募った。「平均20人が参加。おやつの効果は大きい」と代表。活動費は、県の健康長寿団体と地区からいただいた助成金で賄い、お礼として公民館の清掃を会で行っている。

▼今年で満14年を迎えた。会員数に大きな変動はなく、合唱も当初と変わらず声が出ており評判が高いという。「素晴らしいスタッフに支えられ続けられた」と代表。91歳を迎えバトンタッチが進まない悩みもあるが、地域交流と健康アップを目指して活動を継続していく。 ※お近くの方、遊びに来てみませんか?

◇代表: 土屋茂一さん(問合せ・0558-22-8090)

【情報提供・増田信隆】

伊豆市

地域の文化交流を促進する

熊坂小学区地域づくり協議会
文化交流部会

▼熊坂小学区地域づくり協議会の部会の一つ、文化交流部会では、地域の文化交流を盛んにしようと「文化交流祭」「野外体験交流祭」「菜園文化交流祭」を有志18人の部員でアイデアを出し合い事業を進めている。

▼昨年の「文化交流祭」では、住民作品の展示の他「狩野川台風を振り返り今後を考える」をテーマに、市や沼津河川国道事務所の方と意見交換会を開催し防災対策を考える良い機会になった。また本年5月に予定した「地域巡り」ではコロナ対策として、参加者に写真や絵などの資料を事前にUSBで提供しパソコンで見ていただき、希望者だけで地域内を巡る工夫をした。

▼発足から3年が経ち、部会では活動の意欲を維持するために、部員が楽しむ場を持つと、月1回、郷土料理や食に関する風習を調べ調理してみんなで食す研究会兼食事会を始めた。親睦を深めながら、今後の企画にいかす予定である。ふるさとルネッサンス(復活)を目指し地域の交流に取り組んでいく。

◇部会長: 伊藤 博さん(問合せ・090-9232-2576)



歴史を後世に伝える大事な文化交流祭

函南町

一人ひとりの防災力向上に取り組む

南箱根ダイヤモンド
自主防災会



消防士の指導を熱心に学ぶ住民

▼函南町の東方9キロ、美しい富士山を臨む南箱根ダイヤモンドは、昭和45年から開発が始まったコミュニティ活動が活発な定住型別荘地。1100世帯程が定住をし、その内800世帯程が自治会に入会している。

▼平成14年、地域の防災力を高めようと有志で自主防災会を立ち上げ、2年後に自治会が発足した後は、構成団体として活動。本部役員10人の他、10地区にいる防災担当員からなる組織である。活動は自治会入会者を対象に行われているが、別荘者の参加も歓迎している。地区ごと環境が違うので年2回の地区訓練内容はお任せしているが、地区間で防災レベルの差が出ないように本部で勉強会を随時開催している。

▼5月にはイザという時のため、ZOOMを使ったネット会議を開催。自治会のHPで参加を呼びかけ、今後の自主防について話し合った。「自ら災害から身を守る意識を浸透させ、誰もが率先して動けるように住民の防災力を上げていきたい」と代表は言う。

◇代表: 藤田宗久さん

【情報提供・虎尾恵美】



磐田市

住民と女子サッカー選手 ラジオ体操がつなげた縁

南地区
地域づくり協議会



大学を卒業する選手たちに「送る会」を開催している

▼朝6:30、南交流センターのグラウンドからラジオ体操の曲が流れてくる。健康づくりと地域交流を図ろうと始まった南地区の「みんなでラジオ体操」は、冬の寒い時期を除いた毎週土日に開催し、毎回約60人が参加している。

▼この地区のラジオ体操の特徴は、なでしこチャレンジリーグに所属する静岡アスレジーナと静岡産業大学女子サッカー部の選手が、地区内に大学がある縁で参加していること。今では住民による応援の輪が広がり、「夢に向かって走れ」等と記した自作横断幕を持ってホーム戦に駆けつけるようになった。選手も試合結果をラジオ体操の場で報告するなど、両者の親交は深まっている。

▼選手が参加したことで、選手と住民の距離が近くなり、住民同士で応援に行くなど交流に発展をもたらした。「選手から元気ももらっている」と吉添センター長。早朝からの準備は大変だが継続し、今後は地域ボランティアの人材発掘や育成につなげていく。

◇代表: 吉添繁雄さん(問合せ・0538-32-9623(南交流センター)) 【情報提供・安部詠司】

湖西市

世界的造園家「中根金作」の手掛けた庭園整備

湖西市新居
中根庭園を研究する会

▼足立美術館やポストン美術館の庭園を整備した磐田出身の中根金作氏は、旧新居町でも数多くの庭園を手掛けていた。平成30年4月、庭園造りに携わっている吉元代表が、同氏が手掛けた庭園や公園を巡るガイドツアーを実施したところ大盛況。そこで庭園の復元を目指し、貴重な地域資源を守り後世に遺し伝えようと令和元年に会が発足した。

▼現在会員は17人で、磐田や浜松など湖西市外から参加している会員も少なくない。定期的な活動は、老人福祉センター内にある日本庭園で毎月1回行う「草引き会」(草取り)。会員だけでなく、一般の方にも声を掛け参加を呼び掛けており、参加者は持参したマイナスドライバーを片手に雑草を抜き汗を流し、休憩時間は庭座談に花が咲く。会員の庭師の方から指導を受け、元の姿に近づけている。参加費300円は、今後庭の整備に必要な道具の購入資金にし、参加者に還元していく計画を立てている。 ※草引き仲間募集中です。

◇代表: 吉元洋美さん(問合せ・090-6090-6716)




【情報提供・寺田敏幸】



文化財級の価値がある庭園を巡るガイドツアー

地域活動情報

この詳細はホームページでご覧になれます (アドレス <http://www.sizcom.jp>)

No.	市 町	活 動 名	主 催 者	趣 旨 ・ 目 的	
1	掛川市	車窓からお花を楽しんでください お花は心を癒します	国安花の会	花壇づくりは、まちを彩り、心を彩る交流の場として社会参加の充実を図っている。	
2	森町	「な・か・か・み」でふれあう絆づくり	中川上町内会・ 社会教育学級	「健康で豊かな心を育み心のふれあう家庭づくり、町づくり」「町民の仲間づくり絆づくり」を工夫した町内行事を実施する。	
3	浜松市 (天竜区)	人と人との心が通う二俣川の岸辺	二俣川の岸辺を きれいにする会	二俣川をみんなで遊べてゆったりとくつろげる川にしよう。	



創意工夫や新しい手法を活かしている
団体を紹介します。



準備ナシ、片づけナシ
持ち込みOK



利用者が
持ち込んだ
プールで遊ぶ
子どもたち



同時期に寺子屋を開催
BBQ参加者にも
呼びかける
この日はカブトムシ
生態講座

手ぶらでらくらくバーベキューを楽しもう！ コミュニティビジネスで地域振興を！

門池コミュニティ推進委員会地域振興プロジェクトチーム（沼津市）

コミュニティ活動を活性化する方法として、コミュニティビジネスに取り組んでいる活動を紹介したい。場所は沼津市の北東部、門池地区。沼津市では珍しく人口の増加が続いている地域でもある。

コミュニティビジネスって何？

コミュニティビジネスとは、住民が主体となり地域資源を活用しながらビジネスの手法により地域の課題を解決し地域を元気にする取り組みである。

平成30年に同市で「パークマネジメント」が施行され、自治会長研修等で門池公園の利活用促進事業として「バーベキュー事業」が浮上。翌年「沼津市民間支援街づくりファンド」を資金に、地区のシンボル門池公園での「完全手ぶらスタイル」バーベキュー事業を夏から開始。1テーブル（4名）8,000円定額制とし、完全予約制で実施。平日利用は少なかったもののお盆と土日は完売した。スタッフは有償ボランティアとし、32営業日で稼働率51%、営業利益率も黒字となり概ね良好。

迅速に動くプロジェクトチーム

事業の企画運営は、母体となる門池コミュニティ推進委員会の会長の諮問機関「地域振興PJチーム」。組織を横断して人材を集めて発足し、柔軟に対応するため、部会にはせずチームという形にしたそうだと（企画から実行までの動きが迅速にできるんだな！）

チームの特徴は、①コアメンバー10人、支援メンバー10人の計20人で男性が多い。②「気持ちのある人」

の集まり。③平均年齢57歳。④会合は必要に応じて開催。⑤SNSも活用する。そして、さらに驚くべき特徴があった。コアメンバーは、県のコミュニティカレッジに参加してコミュニティについての研修を積むということだ。このことを通して共通認識を深めていくことができる。

コロナにより会合の自粛の際には、「スラック」（リアルタイムに双方向的なコミュニケーションができるソフトウェア）を活用してコミュニケーションを図る。ネットをおおいに利用できることが、若い世代の多い強みだ。

現役世代を集める工夫をうかがうと、学校のPTAの役員あがりの人に声を掛けるとのこと。

若くて意欲があり、共通の理解も得やすいのだ。（人材発掘の場は身近なところにあり！）

過程を楽しむ ～結果は後からついてくる～

この4年間、「磨く→繋ぐ→耕す→育む」をキーワードに活動を進めてきたとのこと。これから先を見通して、「行事から事業へ」をテーマに未来を見据えている。

よく後継者問題が課題ということが話題に出る。だが、今回の取材では、その心配は今のところないようだ。50代のパワーがこれからも門池地区を活性化させていくのではないかと。本当にこれからも門池地区から目が離せない。

◇代表：福田和男さん（問合せ・090-3930-1275）

 レポート：高村 光 編集委員

会長就任に寄せて

静岡県コミュニティづくり推進協議会 会長 伊藤嘉奈子



新型コロナの世界的流行の波にのまれ、「非常事態宣言」や宣言解除後の「新しい生活様式」など、この静岡においても、これまで経験したことのない日々が続いています。

さて、そのような中、本年4月から、鍋倉伸子会長のあとを受けて当協議会の会長を務めさせていただくこととなりました弁護士の伊藤嘉奈子と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

静岡県内の各地において様々なコミュニティ活動をしておられる皆様方は、今、どのように活動されているのでしょうか。

もともと地域コミュニティの活動は、人と人の直接的な接触を前提としないと成り立たないものも多く、今回の新型コロナの流行により、これまで各地域で根付いてきたコミュニティ活動が継続困難となっていないだろうかと思っております。

新型コロナの問題の解決にはまだまだ時間がかかるようで、私たちも、正解のない中で試行錯誤を繰り返しながら、従来のコミュニティ活動の継続や新たな形でのコミュニティ活動の模索など、がんばっていかねばなりません。

当協議会と致しましても、このような状況下での皆様方の活動の工夫や新たな活動などについて積極的に情報収集し発信していくとともに、地域活動を応援するため地域リーダーの育成（コミュニティカレッジ）や地域活動集団の育成支援などの事業もこれまでと変わらず実施してまいります。

皆様方の声をしっかり聞き、今この時期に何が必要か、何ができるかなどを一緒に考えていきたいと思っています。

まだまだ、予断を許さないコロナウイルス。厚生労働省が3月初旬に提示した「ご自宅に感染者が疑われる人がいる場合の注意ポイント」をご紹介します。最新情報は各省庁・都道府県庁の情報を確認して下さい。

自宅に新型コロナウイルス感染が疑われる方がいるときの対処法

厚生労働省「家庭内での注意ポイント」

- 過ごす部屋を分けよう!!**
 - 症状ある人: 個室1つの部屋が4部屋以上出ないほうがいい
 - 看病する人: 看病する人も3部屋のほうがいい。症状のある方、看病者が他の部屋に、別々の部屋に暮らすのがいい
 - 食事も別室!!
 - （出来れば）寝るのも別室にしよう
 - 定期的な換気を!
 - 症状ある人の部屋だけでなく、共用部や他の部屋も!!
- 手で触れるところをこまめに消毒!!**
 - ドアの取っ手
 - ベッドの柵
 - トイレ
 - 洗面所
 - 薄めた市販の家庭用塩素系漂白剤を拭く!
 - 家庭用洗剤をすすぎ、家庭用の消毒剤でこまめに消毒を!!
- 洗い物は一糸着でもOK!!**
 - ただし! 家にいる人は分けよう!
 - 症状がある人の汗液がついた衣服は分けて洗濯し、完全に乾かさう!
- 新型コロナウイルスはとれにくい生きもの?**
 - ドアノブ / 花柄ハンカチ / 缶詰 / 飲み物の中
 - 7~8時間 / 8~12時間 / 24~48時間 / MAX 4日間

制作：西村真理子 (HEART♥CATCH) 久々江美都



コミュニティ活動集団5集団を指定

令和2年度の「コミュニティ活動集団」は、次の5集団を指定しました。地域で新しいコミュニティの風を巻き起こすような活動を期待します。

■新谷コミュニティカフェ“花笑み”（三島市）

自分の意志で歩いて来て、自ら楽しむことができる居場所を目指す。

■コミねっと大平（沼津市）

遊休田畑を活用し、物づくりの意義と活動から育まれる絆の輪を広げる。

■高台ワピ（浜松市中区）

子どもたちの学習支援やあそびを通して地域の「居場所」になれるように活動する。

■高町第3日曜市場（浜松市中区）

「買い物の場」「ふれあいの場」を提供し、人々の交流の場が生まれ地域のコミュニティを深める。

■宮口まちおこしの会（浜松市浜北区）

宮口を知ろう 語ろう！ 宮口を育てよう 熱くしよう！

お知らせ！

令和2年度コミュニティカレッジは下記に延期します。

日時：令和2年12月19日～2月6日 10時～15時(予定)

回数：全3回(そのうち1回は現地訪問研修)

※プログラム等詳細は後日発表します。

編集委員を 紹介します

本年度の本紙編集委員の皆様を紹介します。(敬称略)

- ・平田 厚（静岡福祉文化実践研究所・本会推進専門委員）
- ・曾田尚寿（県広報協会常任理事兼事務局長）
- ・高村 光（コミカレ修了者・沼津市）
- ・市川頼子（コミカレ修了者・吉田町）
- ・甲賀義治（県地域振興課主査）



サマージャンボ 7億円
1等前後賞合わせて7億円
1等5億円、前後賞各1億円

サマージャンボ 1千万円
1等1,000万円

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

PCやスマホからもインターネット購入できます！
宝くじ公式サイト
<https://www.takarakuji-official.jp>

7月14日(火) 同時発売 各1枚300円
発売期間 7月14日(火)～8月14日(金)
抽せん日 8月21日(金)

静岡県立大学 静岡市社会福祉学系
2020年 市町村振興課主査